

事業概要

～熊本を支える地元団体向けに復興経験と知見をつなげる～

熊本における地元主体の復興のためには、復興に関する多角的な知見を持った人を各セクターに増やしていくことが重要だとの考えのもと、過去の災害復興に携わった経験者から、熊本での復興過程や復興の進展に伴って生じると想定される課題、復興課題解決の知見や経験、知っておくべき知識等を、熊本県内で広く共有する機会を研修として設けました。

実施形態

集合講座

熊本県内で復興支援活動に従事している民間のNPO、自治会、ボランティア組織、行政職員や医療・福祉関係、社会福祉協議会等の方々を対象に、26コマの集合講座を通じて、復興過程に必要な基礎知識や復興プロセスで起こりうる課題と対処法などについて、神戸や東北等で先に経験した方からの共有とノウハウ移転を行いました。

活動研修 (助成事業)

過去の大規模自然災害の被災地で活動する復興支援組織への訪問やヒアリング、調査等を通じて、住民主体の復興に必要な知見や技能の取得を行いました。またそのための資金として、1団体につき上限85万円(視察終了後の活動資金を含む)の資金助成を行いました。

ステップ1	視察前集合研修	審査を経て選定された22団体が、有識者による個別相談を通じて、課題整理や予算計画の策定等事業計画の立案について学びました。
ステップ2	視察	2017年7月から2018年1月にかけて、各団体が計画を元に過去の被災地等を訪問し、復興従事者にヒアリングを実施しました。また、視察終了後には団体の活動地域における関係者・協力者への報告会や、視察での学びを活かした試行的事業の実施にも取り組みました。
ステップ3	視察後集合研修	各団体による事業の報告を行うと共に、次年度の事業計画作成や他の助成事業への申請を想定した計画策定のワークショップを実施しました。

業務受託団体

「公益財団法人 地域創造基金さなぶり」

公益財団法人地域創造基金さなぶりは、2011年3月11日に発生した東日本大震災に関連して、復興支援と地域の活性化を図るために、市民の寄付によって設立された公益財団法人です。岩手県、宮城県、福島県の非営利組織が行う復興支援活動と、新たな事業を起こす起業に関する2つの領域に関して、総額約16億円の支援決定を行いました。また、JPFとは、東日本大震災の支援において、地元を主体とした復興支援を推し進めるために連携し、業務を担っています。

集合講座一覧

2017年2月から3月にかけて、熊本市内において以下の26コマの集合講座を実施しました。

日程	時間	テーマ	講師
2月17日 (金)	10:00-11:00	オープニングトーク「復興」とは何か	野崎隆一・菅野拓・田村太郎
	11:00-12:30	復興を支える財源と法制度	菅野拓(阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 研究員)
	13:30-15:00	復興まちづくりと合意形成	野崎隆一(NPO法人神戸まちづくり研究所 理事長)
	15:30-17:00	復興支援の全体像	田村太郎(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事/復興庁復興推進参与)
2月18日 (土)	10:00-11:30	被災者のいきがい・しごとづくり	中村順子(認定NPO法人コミュニティサポートセンター神戸理事長)
	13:00-14:30	復興における中間支援組織の役割	石塚直樹(一般社団法人みやぎ連携復興センターチーフコーディネーター)
2月28日 (火)	10:30-12:00	仮設住宅でのコミュニティ形成支援	遠藤崇広(NPO法人みんぶく 支援プロデューサー)
	10:30-12:00	女性・子育て世代の課題と支援	小川ゆみ(一般社団法人マザー・ウイング 理事)
	10:30-12:00	会議のファシリテーション	三浦まり江(NPO法人陸前高田まちづくり協働センター)
	10:30-12:00	"大学生だからできる復興支援～在学中と卒業後の関わり方～"	赤澤清孝(特定非営利活動法人ユースビジョン 代表)
	13:00-14:30	ファンドレイジングの基礎	河合将生(NPO組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表)
	13:00-14:30	まちづくりへの参加のデザイン	浅見雅之(人・まち・住まい研究所 代表)
	15:00-16:30	コミュニティにおけるファンドレイジング	河合将生(NPO組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表)
	15:00-16:30	連携と協働で支える地域づくり	鹿野順一(NPO法人いわて連携復興センター 代表理事)
	19:00-20:30	メモリアル事業の事例と考え方	森田拓也(神戸いきいき勤労財団)
3月1日 (水)	13:00-14:30	課題と目標の立て方	山崎庸貴(一般社団法人ふくしま連携復興センター 理事・事務局長)
	15:00-16:30	国際基準でみえてくる支援現場の課題	松尾沢子(NPO法人国際協力NGOセンター 能力強化グループマネージャー)
	19:00-20:30	復興まちづくりのケーススタディ	野村勝(細田・神楽地区まちづくり協議会会長)
3月3日 (金)	10:30-12:00	復興とともに生きる子ども・若者への支援	門馬優(NPO法人TEDIC 代表理事)
	10:30-12:00	成果の表現と広報の技術	船本成記(尼崎市顧問)
	10:30-12:00	地域の産業の再生と仕事の創出	松村豪太(一般社団法人ISHINOMAKI2.0 代表理事)
	13:00-14:30	補講・総論①	田村太郎(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事/復興庁復興推進参与)
3月10日 (金)	10:30-12:00	対人援助の基礎	田村太郎(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事/復興庁復興推進参与)
	19:00-20:30	人材マネジメントの基礎	田村太郎(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事/復興庁復興推進参与)
3月24日 (金)	10:30-12:00	保健福祉分野から見た被災者支援	原田奈穂子(東北大学大学院医学研究科)

おことわり

※本誌では、各講義を「総論」、「テーマ」、「スキル」の3項目に分け、項目別に次ページ以降に記載しています。そのため、上記一覧表と、次ページ以降に記載の講義の順番が異なります。
 ※河合氏の「コミュニティにおけるファンドレイジング」は、同氏の「ファンドレイジングの基礎」の実践編でワークを主としているため、本記録誌から省いています。また、田村氏による「補講・総論①、②」も、2月17日実施の講義内容の補講のため、同様に省いています。
 ※上記一覧表内および次ページ以降の各講義に記載している講師の役職・略歴は、集合講座実施当時のものです。
 ※JPFウェブサイトにも講義ごとのデータを掲載しておりますので、ダウンロードして自由にご活用ください。なお、講義ごとの利用を想定しているため、同一講師による複数講義実施の場合でも、講師の略歴を都度記載しております。